

一般質問通告書一覧表

令和4年第1回定例会

質問 順位	質問 方式	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	一問 一答	中 沢 仁 議 員	1. 本市における市長選挙と議会議員選挙の日程および投票率向上について	本市では任期満了に伴い次期市長選挙と市議会議員選挙が予定されています。選挙の費用を鑑みての日程について伺います。また、高齢化率が35%を超えた今、遠い投票所への移動が市民の負担となり投票率の低下を招いています。本市の選挙費用や市民の負担を考慮した投票率向上についての取組みを伺います。	選挙管理委員会書記長
			2. 本市における公共施設のネーミングライツ（命名権）について	本市では、地域住民に密着した公共施設は地域名のままです。近年、地方公共団体が公共施設に団体名や商品名などを冠した通称を付与するネーミングライツ（命名権）の導入に力を入れ始めていますが、本市での導入について考えを伺います。	市長 行政経営部長
2	一問 一答	沼 崎 孝 雄 議 員	1. 成人年齢の引き下げによる本市の取組みについて	令和4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられます。成年は親の同意なく様々な契約ができるようになることから、消費者トラブルの発生が懸念されます。社会全体で消費者被害拡大の予防と救済の手段を考える必要があると思います。 ①本市の消費者被害防止の体制整備について ②消費者教育の取組みについて ③義務教育課程でも消費者教育が必要と考えますが、現在はどうのような教育がなされているのでしょうか。さらに今後の課題について	教育長 地域振興部長 教育部長
			2. 太陽光発電施設の苦情とその対策について	本市では多くの太陽光発電施設が設置されており、現在でも設置数はまだ増えています。太陽光発電施設設置後のトラブルや市民からの苦情に対して、市の対応や業者への指導について伺います。	地域振興部長
3	一括 質問	若 松 宏 幸 議 員	シビックプライドの醸成について	本市では、第2次稲敷市まち・ひと・しごと創生総合戦略において「市民の一人ひとりの”シビックプライド”の醸成を推進します」と記されています。人口減少社会にあって、住民の転出を抑制するためには、住民がまちに愛着を持ち、より良い場所として感じるようなシビックプライドの向上が不可欠な要素であると言われています。そこで、住民参加のまちづくり、地域コミュニティの活性化を進めていくためのシビックプライド醸成の取組み状況、さらにはシビックプライドを高めていく施策等について伺います。	市長 地域振興部長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	一 問 一 答	松 戸 千 秋 議 員	1. フッ化物 洗口推進事業 の導入について	フッ化物洗口とは、虫歯予防を目的に、フッ化ナトリウムを水に溶かした洗口液で、ぶくぶくうがいを行う方法です。就学前の4～5歳児を対象に実施することで、虫歯予防を図ることができる事業です。こどもの歯と口腔の健康づくりに必要と考えますが、導入の考えを伺います。	保健福祉部長 教育部長
			2. 高齢者の ゴミ出し支援 について	令和2年3月定例会で一般質問しましたが、その後の取組みの進捗状況について伺います。	市長 副市長 市民生活部長
5	一 問 一 答	寺 崎 久 美 子 議 員	過疎地域指定 について	①全域指定をどのように受け止められたか伺います。 ②過疎地域指定の該当要件は、人口減少率、財政力指数ですが、稲敷市の現状を伺います。 ③指定を受けたことで、どのような効果が期待されるか伺います。 ④過疎地域持続的発展計画が策定され、財政措置として過疎対策事業債7割、交付税措置3割負担になりますが、今後の課題を伺います。 ⑤人口減少率21%以上、財政力指数0.51を下回るだろうということをいつ頃から予想されていたか伺います。 ⑥人口ビジョン基本方針からなる具体的施策目標、雇用者増加、社会増減数、若年居住の割合の状況を伺います。 ⑦転出、転入の傾向について伺います。	市長 行政経営部長
6	一 問 一 答	山 本 彰 治 議 員	高齢者のみの 世帯に対する 見守りサービ スについて	年々高齢化が進み、2020年の国勢調査では、全国の65歳以上の割合が28.6%になっています。稲敷市の高齢化率は30.7%です。その中での世帯構成についても、高齢者の単独世帯はもちろんのこと、高齢者のみの世帯も多くなる傾向にあります。独居高齢者に対する見守りサービスだけでなく高齢者のみの世帯にも考えていくべきです。2年半前にも質問しましたが、その後の高齢者の見守りサービスについて伺います。	市長 保健福祉部長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
7	一 問 一 答	椎 野 隆 議 員	1. 令和4年度稲敷市予算編成にあたっての考え方について	①経済をどう分析しているか。現下の経済情勢をどのように分析しているか。 ②税金について自主財源である市税の確保は重要です。その考えを伺います。 ③財政調整基金の考え方と今後の運営について伺います。	市長 行政経営部長
			2. 市内経済の活性化の為の取組みについて	コロナ禍の中で、国の補正予算により対策を講じているが、その実績と今後の対策について	地域振興部長
			3. 「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」により市内全域が対象となることについて	①4月1日から市内全域が指定されたことについてどう捉えているか伺う。 ②昨年作成した「稲敷市過疎地域持続的発展計画」を再度作成するとしているが、現行のものとの関連について ③「計画」の中で可能なものは実現すべきと思うがどうか	行政経営部長
			4. 水道管の耐震化の進展状況について	水道管の耐震化の現状と今後の方針について	土木管理部長
8	一 問 一 答	山 口 清 吉 議 員	本市全域の過疎地域指定と持続的発展計画について	①過疎法指定の要件は、人口減少と財政力指数であると言われているが、本市の現状をどのように認識しているか。 ②効果的な人口減少対策、財政力指数アップはどのように考えているのか。 ③学校給食の無料化など子育てしやすい環境を作ることが、重要ではないか。 ④本市の主産業は農業である。再生産できる農業となるような支援が必要ではないか。 ⑤水道の老朽化対策として10年計画で加入者を90%まで引き上げる目標を持って、過疎対策債を利用して水道料金の引き下げを。 ⑥廃校を利用した高齢者生活支援事業を実施してはどうか。 ⑦過疎地域指定を受けた利点を最大限生かし、総花ではなく重点政策を推進し、夢と希望の持てる計画を作る考えはないか。	市長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
9	一 問 一 答	浅 野 信 行 員	1. 水田リノ バージョン事 業による農業 者支援につい て	水田リノベーション事業とは新市場開拓を 図るため、実需者ニーズに応じた価格、 品質等に対応するために必要となる低コス ト政策の取組みを行う事業です。本市の取 組みを伺います。	地域振興部長
			2. 世界的な 広がりを見せ る e スポーツ について	茨城県では、国体で全国初となる e スポ ーツ大会を開催したことで、全国から注目 を集めています。県では、新たな e スポ ーツ産業の創造を目指す「いばらき e スポ ーツ産業創造プロジェクト」をスタートして います。本市の取組みを伺います。	市長 地域振興部長